

未夕確定の態度決定ニ至ラス

二 従業員側

従業員側ハ社長カ工場再開ノ意思ナクハ従業員一同ニ於テ  
強盛ニハク討議ヲ進メ新興印刷製本作業委員会ナル名稱ノ  
下ニ作業委員会以下ノ役員ヲ定メ規律アル該制下ニ引續キ  
工場内ニ籠城シ夜間ハ五名宛ノ宿直員ヲ置キ一方債権者ハ  
約三萬六千圓ノ興業銀行ノ新解ヲ得テ得意先神田駿河台下  
三省堂ニ於テ來ル九月ヨリ開始スヘキ學校教科書ヲ引渡ク  
ヘク永井事務ニ交渉シテ諒解ヲ得清算人宮下巖トシ交渉ヲ  
本部主事松岡駒吉ニ一任シ近ク惣同盟管理ノ下ニ一時の強  
盛ヲナク意留ニテ準備ヲ進メツ、アリ

右及申(通)報候也

學報第二七七八號

昭和七年八月三十日

警視總監 藤 沼 庄 平

常務理事

労働課長

事務主任

内務大臣 山 本 達 雄 殿

社 會 局 長 官 殿

廳 府 縣 長 官 殿

(本署於該制係川島産案部所屬)

此 記

東京印刷製本株式會社労働會議ニ関スル件 (第三報)

一 従業員側ニ對シテ宮下清算人ヨリ工場経営ニ関スル具体案提出ヲ要求

セリツ以テ従業員側ハ工場経営者ト急中ナリ

要旨

一 二十六日午後四時三十分頃前社長ノ急報野田造外ニ名ハ工場ニ來リ  
欲型搬出ニ際シ従業員側ハ令人ニ暴行ヲ加ヘ名ヲ以テ田中保并三名

ヲ檢束セリ

4212